

小樽市立手宮中央小学校 学力向上改善プラン

1 実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 児童の実態

昨年度実施した全国学力・学習状況調査においては、国語、算数ともに、全道、全国平均を上回る結果となった。しかし、児童の分析から長文を読み解く力が不足していることが結果となって表れた。

第2学年～第5学年の児童が実施した標準学力調査の結果からも、基礎的・基本的事項の定着に課題がある。また、日々の取組結果から、国語算数ともに定着目標の8割に達していないことが結果となって表れた。それぞれの学年で学習内容が未定着のまま次の学年に進んでしまうことがその要因の1つであることから、放課後学習に参加する児童の対象者を広げ、学力向上に向けた取組を明確にし、学校全体として取り組んでいくことが必要である。また、家庭学習や基本的な生活習慣の定着に向けて家庭や地域と連携をさらに強めていく必要がある。

3 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・つまずかずに読める。
2年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読める。
3年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読める。会話を工夫して読める。
4年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読める。会話を登場人物の気持ちに合わせて読める。
5年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りやすい速さで、つまずかずに読める。地の文、会話を意識して読める。
6年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りやすい速さで、つまずかずに読める。心情を工夫して読める。

<算数科>

学年	定着目標
1年	・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算ができる。(定着8割)
2年	・九九をすらすら言うことができる。(定着8割)
3年	・かけ算の筆算ができる。(2・3位数×2位数) ・小数、分数のたし算、ひき算ができる。(定着8割)
4年	・小数のたし算、ひき算ができる。(定着8割) ・小数と整数のかけ算、わり算ができる。(定着8割)
5年	・小数のかけ算、わり算ができる。(定着8割) ・分母の異なる分数のたし算・ひき算ができる。(定着8割)
6年	・分数と整数、分数の同士のかけ算、わり算ができる。(定着8割)

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・20分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣
2年	・30分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣
3年	・40分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣
4年	・50分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣
5年	・60分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣
6年	・70分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣

4 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①算数について、習熟度別少人数指導・TT指導の実施
- ②国語について、手宮中央小タイム(書く活動・読み取りの活動)長期休業中での補充学習
- ③高学年における教科担任制の導入・継続
- ④放課後学習の取組

(2) 授業改善を図る校内研修の取組

- ①各学年における「見方・考え方」を系統的に指導
- ②子どもに働かせたい「見方・考え方」を逆算して授業構成を工夫する

(3) 望ましい学習習慣・生活習慣を形成する取組

- ①家庭学習の手引きの配付 家庭学習の充実
- ②毎日の音読 宿題
- ③家庭学習ノートなど異学年の学習の取組の交流
- ④各家庭でテレビ視聴、ゲームをする時間についてのルール作り

5 実施計画

年月日	計画内容
R5年4月	・チャレンジテスト前年度問題の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・家庭学習の手引き配付 ○R5全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点
5月	○標準学力調査実施(第2学年・第3学年・第4学年・第5学年)
6月	○標準学力調査結果分析 ・手宮中央小タイムの実施 ・1学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・チャレンジテストの実施
7月	・児童アンケートの実施
8月	・夏季休業中の学習会
9月	○R5全国学力・学習状況調査結果分析
10月	・地域公開日(土曜日)、学校説明会 ○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
11月	・個人結果の説明
12月	・2学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・チャレンジテストの実施 ・児童アンケート、保護者アンケートの実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
R6年1月	・冬季休業中の学習会
2月	・3学期のまとめ、ふりかえりの実施
3月	・確認テストの実施 ○新学力向上改善プランの作成

*随時、評価と改善を行っていく。 *3学期末に学年のまとめを実施する。

6 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着について

- ①単元テスト・チャレンジテスト・学力調査の実施
- ②国語・算数の確認のためのテストの実施

(2) 授業改善について

- ①全学級の授業公開
- ②校内研修における改善方法の交流

(3) 望ましい学習習慣・生活習慣について

- ①児童・保護者アンケート
- ②保護者説明会の実施